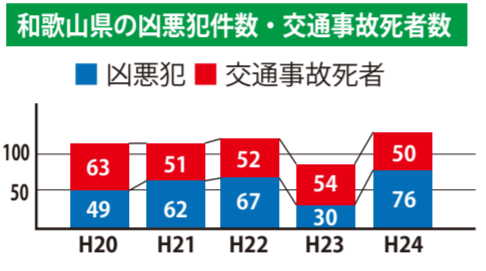
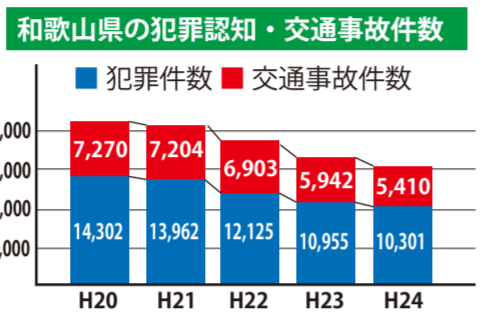


和歌山発・民間発の犯罪被害者支援！ 紀の国被害者支援センターの取り組み



紀の国被害者支援センターとは
紀の国被害者支援センターを存じでしょうか。今から16年前に全国で6番目に設立された民間の被害者支援団体で、現在は公益社団法人として犯罪や交通事故などの被害にあわれた方などへの支援を行っています。

また、和歌山県公安委員会から「犯罪被害者員会から「犯罪被害者等早期援助団体」の指定も受けています。指定を受けるまでは、被害者からの連絡を待つ支援を開始していましたが、被害者の理解があれば、警察から情報提供を受け、センターから連絡をできるようになりました。これにより、被害者が支援をもっと必要とする被害直後に対応ができるようになりました。

犯罪の被害にあうということ
大切な人を亡くした。身体や心に傷を負った。外出することが困難で、学校や仕事に行けない。家事や育児など、日常生活がままならない。仕事に行けない、通院、裁判引越など経済的な負担が発生した。家族や友人など親しい人や、近所の人からの言葉に傷ついたり。警察や裁判、病院での対応に傷ついた。「もし、なら」と自分を責めてしまう。

このように犯罪の被害に遭うと、様々な痛手を抱えることとなります。これは犯人が逮捕されても、裁判が終わっても、身体の傷が癒えても全てが被害にあう前の状態に戻ることはありません。

また、犯罪の被害に遭うと、これまでに感じたことのない心や身体の変化が現れることがあります。しかし、このような症状は特別なものではなく、被害にあってしまったことでおこる、当たり前の反応なのです。

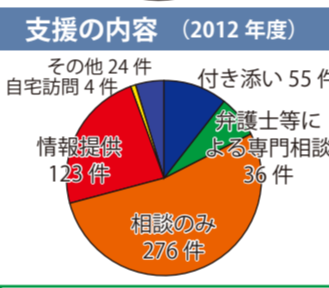
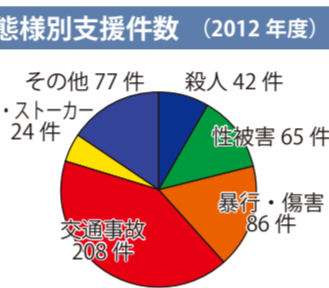
「私たちに何かできることがないか。」その思いを持ちながら、被害にあわれた方々に寄り添いながら支援をしています。

紀の国被害者支援センターからお願い
—財政基盤の確立を目指して—
センターの支援はすべて無料で提供しています。活動資金は、皆様からの寄附金や、会費などで運営されていますが、早期援助団体に指定を受けたことで、相談件数が急増しており、ファンドレイジング（資金獲得）が目の下の課題となっています。

財政面から被害者支援活動をサポートしていただけませんか。

■「賛助会員」を募集しています。
年会費：個人2,000円/法人・団体10,000円
*当センターへの賛助会費等は、税制上の優遇が受けられます。

■被害者支援自動販売機の設置をお願いします
この「支援自動販売機」は売り上げの一部が被害者支援の活動資金として活かされる仕組みとなっています。今年7月末現在、和歌山県内に44台あり、今後も設置いただける事業所を募集しています。



被害者支援の活動
犯罪被害者支援の活動は非常に幅が広いのですが、大きく3つに分かれます。

①支援：被害者の方から電話や面接による相談を受けたり、警察や裁判などへの付添いや自宅訪問を行ったりしています。また、警察や弁護士、精神科医、行政などの関係機関や専門家と連携を取りながら情報提供や紹介も行っていきます。

②人材育成：支援は、全国共通の専門的な研修を受け、所定の試験と面接に合格し、認定された相談員や支援員が行っています。その人材の育成やスキルアップの研修を行っています。

③広報啓発：犯罪被害者のおかれている状況や犯罪被害者支援の必要性を広く知っていただくためにチラシの配布や地域への講演活動、リーフレットの作成などをを行っています。

相談ダイヤル (相談無料・秘密は守られます)
073-427-1000 (月～金 10時～16時、土 13時～16時)
※第1・3土曜日は女性臨床心理士による女性の被害に関する専門相談日

お問い合わせ先 (和歌山県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体)
公益社団法人紀の国被害者支援センター
〒640-8145 和歌山県和歌山市岡山丁4 児童女性会館 2F 事務局 電話・FAX 073-427-2100

みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

●心が折れない男の生き方
「しなやかに、おだやかに、したたかに生きるヒント」見つけてみませんか？
日時 8月7日(水) 19:00～20:30
場所 和歌山ビッグ愛9階 会議室A
講師 吉岡俊介さん(『心が折れそうなビジネスマンが読む本』監修者)
入場料 無料(事前申込み必要) 問い合わせ 和歌山県男女共同参画センターいぶる (073-435-5245)

●旧中筋家住宅無料公開
一般公開開始から3周年を記念した無料公開。事前申込みは不要です。直接来館下さい。
日時 8月3日(土)・4日(日) 9:00～16:30
場所 旧中筋家住宅(和歌山市禰宜)…JR和歌山線千旦駅から南へ徒歩20分。駐車場は同住宅から南に300mのところ。
問い合わせ 和歌山市教育委員会文化振興課 (073-435-1194)、土日祝は旧中筋家住宅事務所 (073-465-3040)

●竹燈夜 in 四季の郷
ハートの日に、暗闇で、ゆらめくろうそくの灯に心やすらぎ、五感を研ぎ澄ませよう！
日時 8月10日(土) 18:00～
場所 四季の郷公園(和歌山市明王寺)
内容 1万本の竹灯り、竹灯りコンサート、夜店、竹灯りコンテスト2013、Night of Light
入場料 無料
問い合わせ 山東まづくり会 (sandomachikai@gmail.com)
備考 当日は駐車場がたいへん混雑しますので貴志川線伊太新曾駅の利用を。無料シャトルバス運行予定。

●休日のパバランチ
お父さんまたはおじいちゃんとおホットプレートでパエリアをつくってみませんか。
日時 8月10日(土) 10:00～13:00
場所 和歌山市あいあいセンター4階
対象 小学生と男性の保護者(祖父でも可)
定員 12組(事前申込み必要)
問い合わせ 和歌山市男女共生推進課へ電話またはメール、直接来所申込みを (073-436-8704、danjokyousei@city.wakayama.lg.jp)

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

JI-MO TIMES Vol.3

東日本震災が発生した平成二十三年3月

どうして理事になったのか
東日本震災が発生した平成二十三年3月

和歌山在住。
三木理研工業株式会社取締役、
和歌山商工会議所青年部副会長など。

地元力 財団 わかやま地元力応援基金

誰もが豊かさを感じられる
和歌山を目指して

一般財団法人わかやま地元力応援基金 理事 **三木保人さん**

原点
大学卒業後、見聞を広めるため単身オーストラリア一周旅行を行うなどした後、27歳で父親が経営する三木理研工業に入社。

「自分は和歌山でどんな生活をしたのか。和歌山にいる積極的な理由を探していた」と三木氏は当時を振り返る。リーマンショック以降の不況で平成二十二年決算では創業以来はじめての単年度赤字を経験する。三木理研工業は和歌山市に集積している化学メーカーのひとつだが、技術職が多く自社の経理を見直す投資過剰だった。現在は同社の取締役として会社を切り盛りしている。

所属する商工会議所青年部は、会員お互いの商売がうまくいくために集まっている組織で、志を同じくする仲間とわかやま城下町パルを企画。新しいことをやってみたい好奇心と、和歌山への思いと、自利利他の精神で青年部以外のメンバーも巻き込みながら、今年10月で5回目の開催となる。

この支える基金の経験がきっかけとなり、地元力財団の設立に関わることとなる。企業のNPOなど市

11日、三木氏は出張で羽田空港にいた。現地状況の刻々と伝わるテレビの向こう側にいる被災者のために何かしたいと考えたが、流通網の断絶や原料不足対策に時間を費やしていたので、なかなか被災地に行くことができない中、和歌山から被災地に赴くボランティアを支えるための基金「支える基金」の存在を知り、会社として寄付を行った。

三木氏は言う。「会社のお金は従業員みんなのお金でもある。だからこそ社員に対して、何にどれだけ使われたのか、しっかりとフィードバックしたい。支える基金は、寄付者と活動団体が顔の見える関係だったの、社内できちんと説明できたのがよかった」

「ひとりきりで生きられる人は誰もいない。みんな支え合って暮らしている。地元の問題や可能性を自分の暮らしと切り離して考えてはいけない」と三木氏。

豊かさを感じるためには、地元で開催される城下町パルのような【機会】と、地元力財団のような【機能】をいかに知るか、利用できるか、ではないだろうか。

「ひとりきりで生きられる人は誰もいない。みんな支え合って暮らしている。地元の問題や可能性を自分の暮らしと切り離して考えてはいけない」と三木氏。

640-8331
和歌山美園町5-6-12 (みその商店街東通り)
Tel.073-428-0011 Fax.073-428-0012 URL www.jimotofund.com